


TOTO 密結形ロータンク



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全のために必ずお守りください



施工の前にこの「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。
---	------------------	---	---------------------

注意

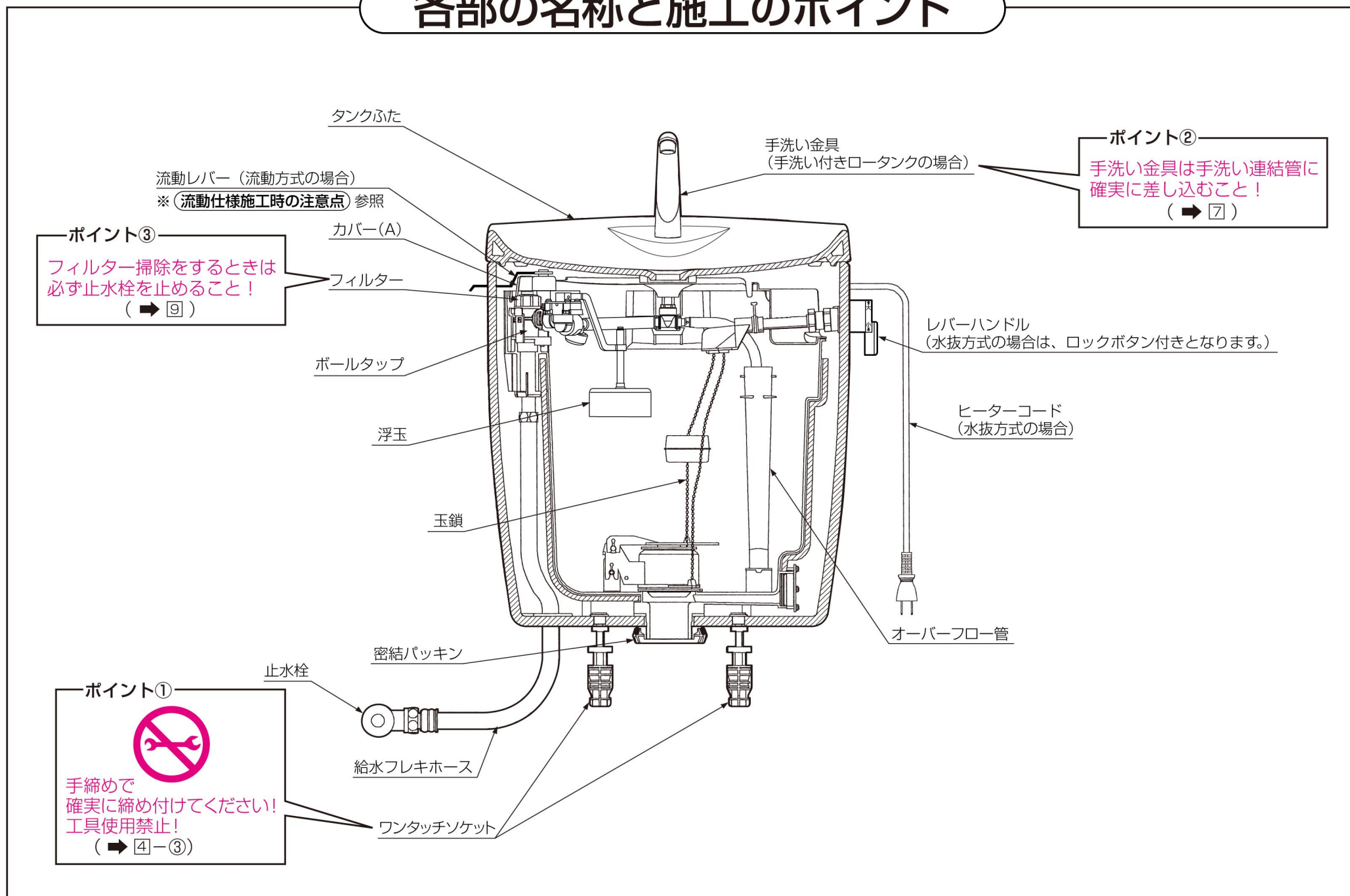
	<p>陶器に衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財を汚す原因になることがあります。</p> <p>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらし、財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する</p> <p>フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。</p>

開梱作業

■陶器タンクから内部金具を取り出します。
※部品があるか、下記表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考	包装
密結パッキン	1個			小袋
手洗い金具	1セット		手洗い付きの場合のみ	
ワンタッチナット	2個			大袋
ウォシュレット用給水ホースクランプ	1個		ウォシュレットの給水ホース引っ掛け用 → 	
コードクランプ	2個		水抜方式の場合のみ (小袋に同梱)	
止水栓	1個		止水栓付きの場合のみ	箱入
施工説明書	1枚	本紙		
取扱説明書	1冊			小袋

各部の名称と施工のポイント

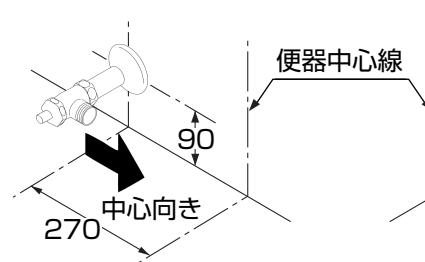


器具の取り付け

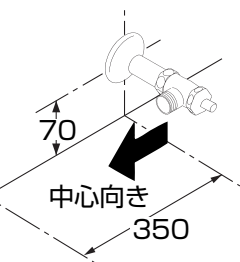
1 止水栓の向き

水抜方式

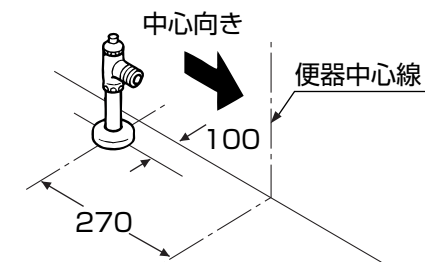
〈左壁給水の場合〉



〈右壁給水の場合〉



〈左床給水の場合〉



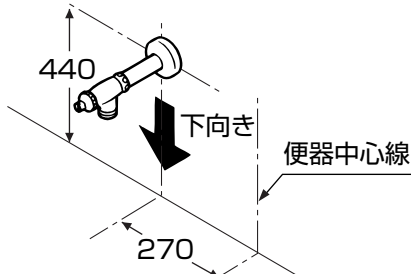
〈右床給水の場合〉

右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

(単位: mm)

流動方式

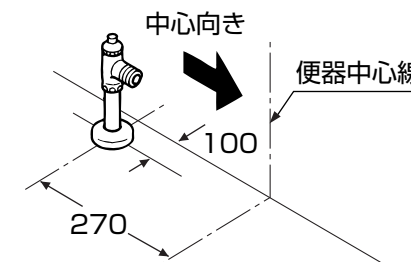
〈左壁給水の場合〉



〈右壁給水の場合〉

右給水の場合は、便器中心線に対し、左壁給水と対称になるように施工してください。

〈左床給水の場合〉



〈右床給水の場合〉

右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

(単位: mm)

※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
 ※流動方式壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付けできるように、止水栓の接続口の向きを調節してください。
 ※水抜方式の場合、給水フレキホースの水抜勾配を確保できるように、取り付けてください。

2 便器の取り付け

便器に同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付けてください。

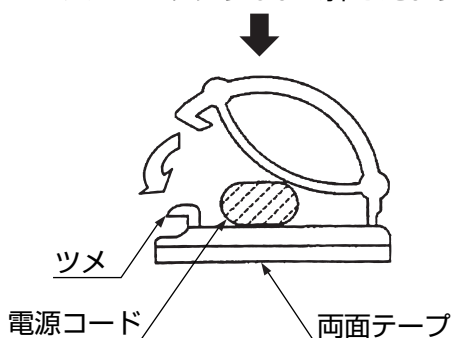
3 ヒーターコードの固定 (水抜方式のみ)

①コードクランプ裏面の剥離紙をはがし、両面テープ面をタンク裏面にしっかりと押さえ付けて貼ります。



貼付面に水分やほこりがないようにする
タンク貼付面をよくふいてから貼ってください。

ツメがロックするまで押さえます



②電源コードをコードクランプに通し、コードクランプのツメが「カチッ」とロックするまで押さえてください。



取り付け後、コードを無理に引っ張らない
コードクランプがはがれ落ちてしまうおそれがあります。

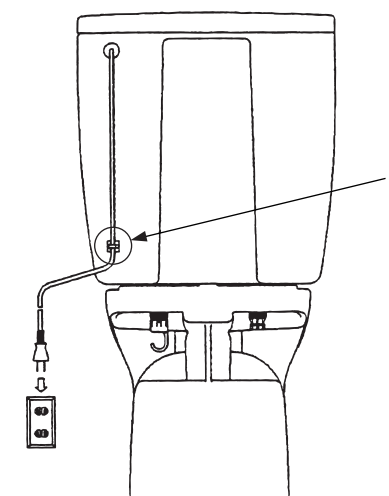


注意
 施工後、コードクランプのツメを外す場合には、手で行わない
 マイナスドライバーを使用すると安易に外すことができます。

コードの配線例

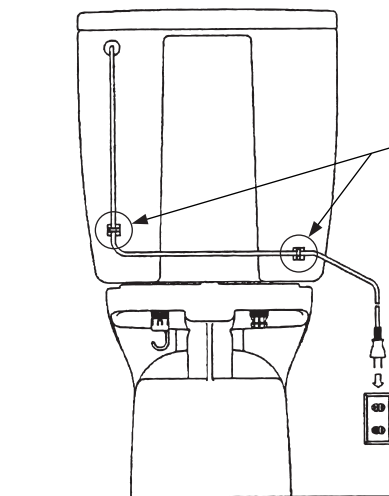
(下図のタンクは背面より見た場合を示します。)

〈コンセントが右側 (便器正面より見たとき) の場合〉



コードクランプ
1個をコード取
出口下方に貼り
付けます。

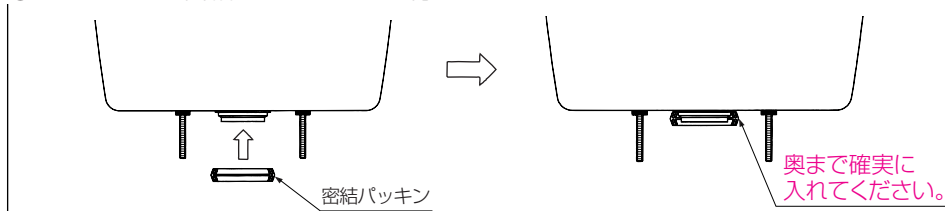
〈コンセントが左側 (便器正面より見たとき) の場合〉



コードクランプ
2個を取出口下
方と反対側下
方に貼り付けます。

4 ロータンクの取り付け

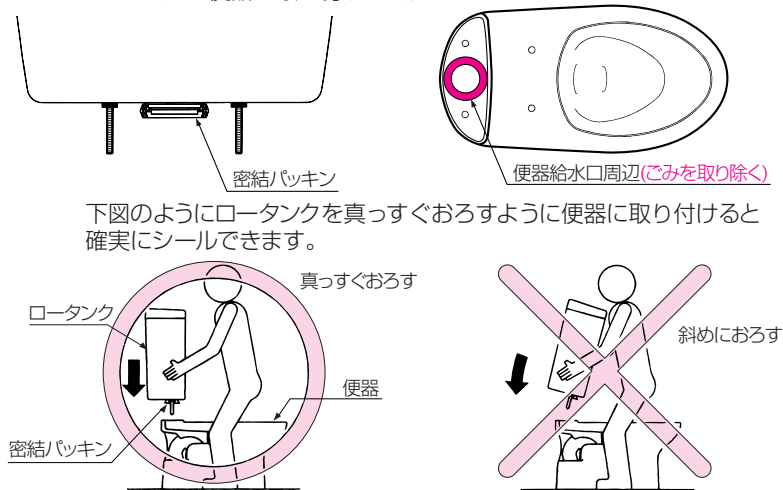
① ロータンクに密結パッキンを取り付ける



注意 同梱の密結パッキンを上図のように取り付ける
正しく取り付けないと水漏れするおそれがあります。

② ロータンクを便器に取り付ける

便器給水口周辺の防傷紙・ごみなどを完全に取除いたあと、ロータンクを便器に取り付けてください。

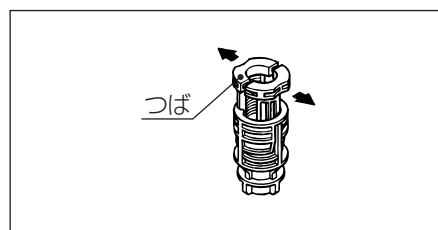


注意

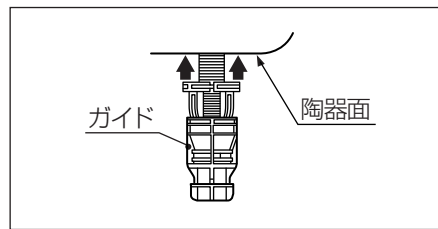
- ・密結パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く
水漏れするおそれがあります。
- ・ロータンクを斜めにおろさない
密結パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れするおそれがあります。

③ ワンタッチナットでロータンクを固定する

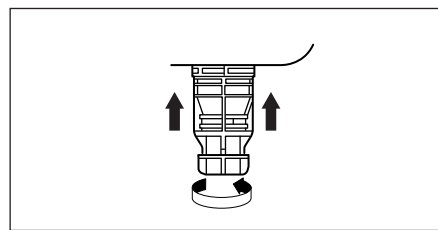
(1) つばが広がっていることを確認します。



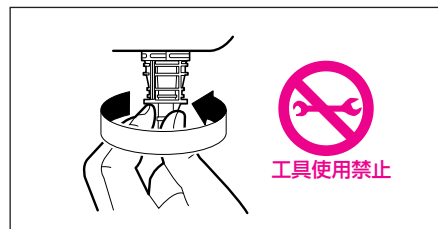
(2) つばの上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込みます。



(3) ガイドを少し回しながら押し上げます。



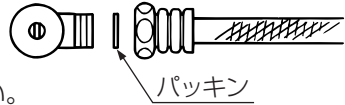
(4) ワンタッチナットを手で締め付けます。



ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

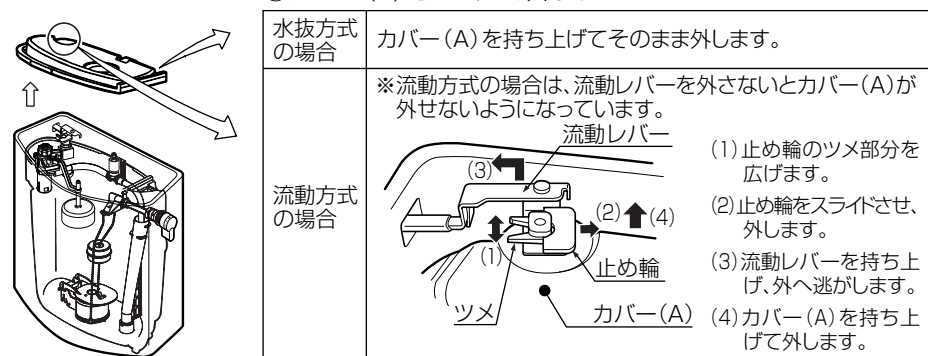
5 給水フレキホースと止水栓の接続

・給水フレキホースにねじれ、折れなどのないよう
に接続してください。



6 止水水位の確認

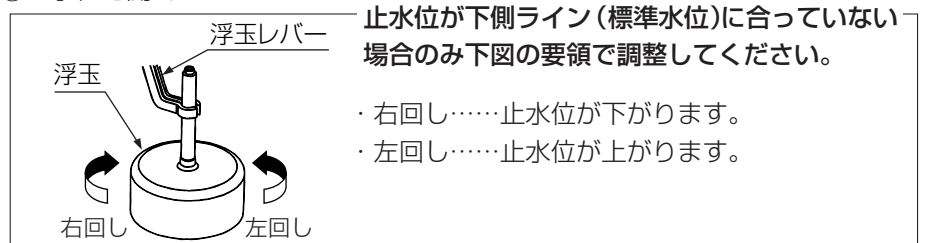
①カバー(A)をいったん外す。



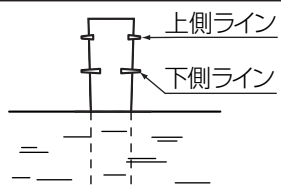
②手洗い連結管に手洗い金具を差し込む。
(手洗い付きロータンクの場合)
※手洗い金具を差し込まずに止水栓を開くと水がふき出します。

④止水水位が下側ライン(標準水位)に合っているか確認する。止水水位を確認したら手洗い金具を抜いてタンクふたに取り付けます。

③止水栓を開く

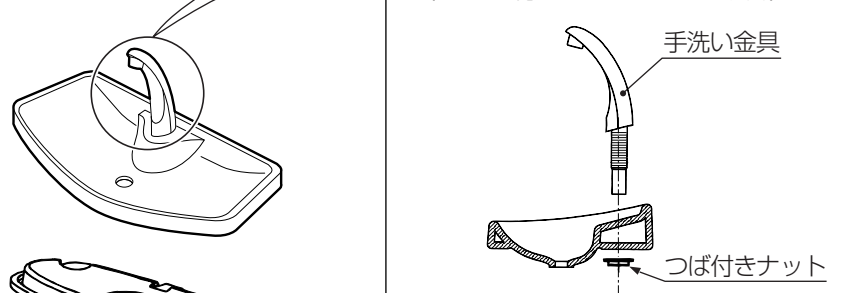


WL表示ラインは、オーバーフロー管の上側・下側2カ所に止水水位をセットできる構造になっていますが、水量に合わせて所定の位置にセットして出荷しています。
※ただし、10L洗浄仕様時は上側ラインに止水水位を合わせてください。



7 タンクふたの取り付け

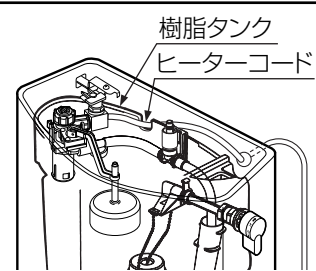
①手洗い金具を取り付ける
(手洗い付きロータンクの場合)



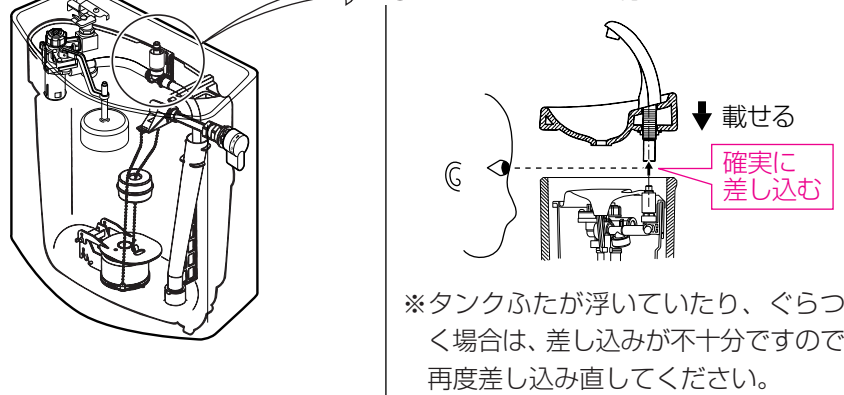
②カバー(A)を手順⑥と逆の手順で取り付ける
※流動方式の場合は必ず流動レバーを取り付けてください。



水抜き方式の場合、樹脂タンクとカバーの間にヒーターコードを挟まない
ヒーターコードが断線するおそれがあります。



③タンクふたを取り付ける



カバーやタンクふたなどは、確実に差し込む
水漏れの原因になります。

8 取り付け完了後の確認

・2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認してください。

・水の出方が悪いときは、「⑨ フィルターの掃除」を参照して掃除を行ってください。

保守などについて

9 フィルターの掃除

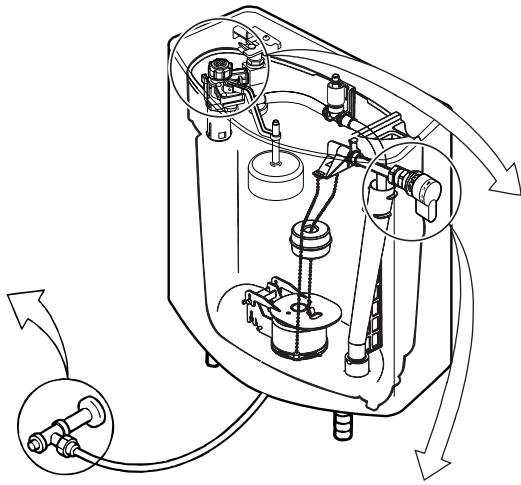
①止水栓を閉める



注意
フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る

手順を守らないと水漏れするおそれがあります。

フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う
水圧でフィルターが飛び出すことがあります。



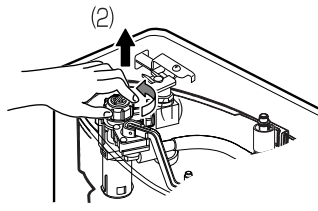
②タンク内の水を流す

③タンクふたを外す



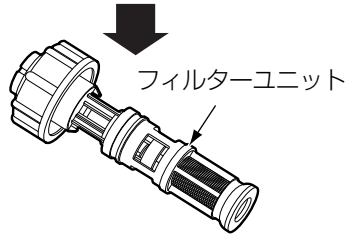
注意
タンクふたは落下しないように注意する
割れることがあります。

④カバー(A)を手順⑥-①を参照し、外す
⑤フィルターを外す



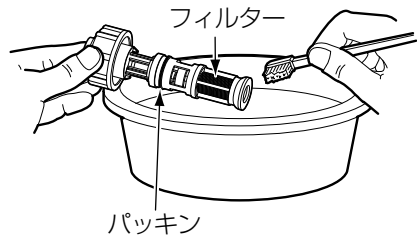
(1)左回し(抜けるまで回す)
(かたい場合があります。かたい場合は、上部のマイナス形状部分にマイナスドライバーを差し回してください。)

(2)引き抜き



フィルターユニット

⑥フィルターの外側を掃除する



※パッキンを傷付けないようにごみを取り除いてください。

⑦フィルターをつける

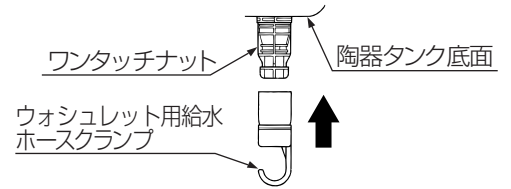
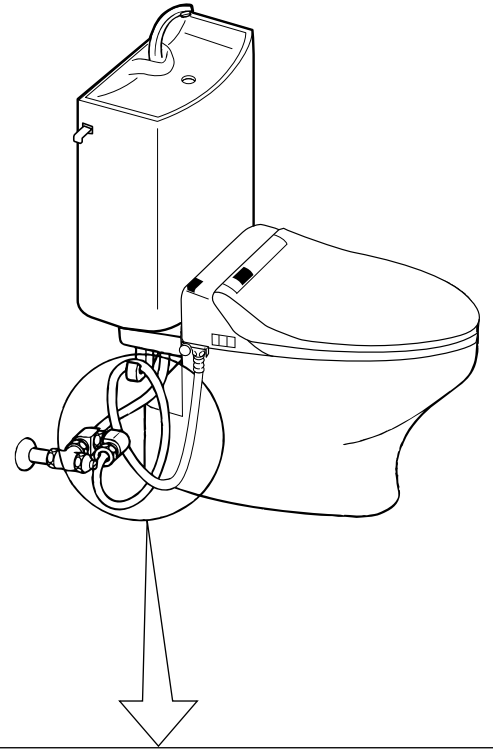
掃除後は、逆の手順でフィルターをつけてください。
フィルターは最後までしっかり締め付けてください。
※工具を使用しないでください。

⑧作動の確認

手洗い連結管を手でふさいでから(手洗い付きロータンクの場合)止水栓を開き、正常に作動するか確認してください。

10 ウォシュレット用給水ホースクランプの取り付け(ウォシュレットが取り付けの場合)

ウォシュレット用給水ホースの収まりがよくないときなどは下図のように使用してください。



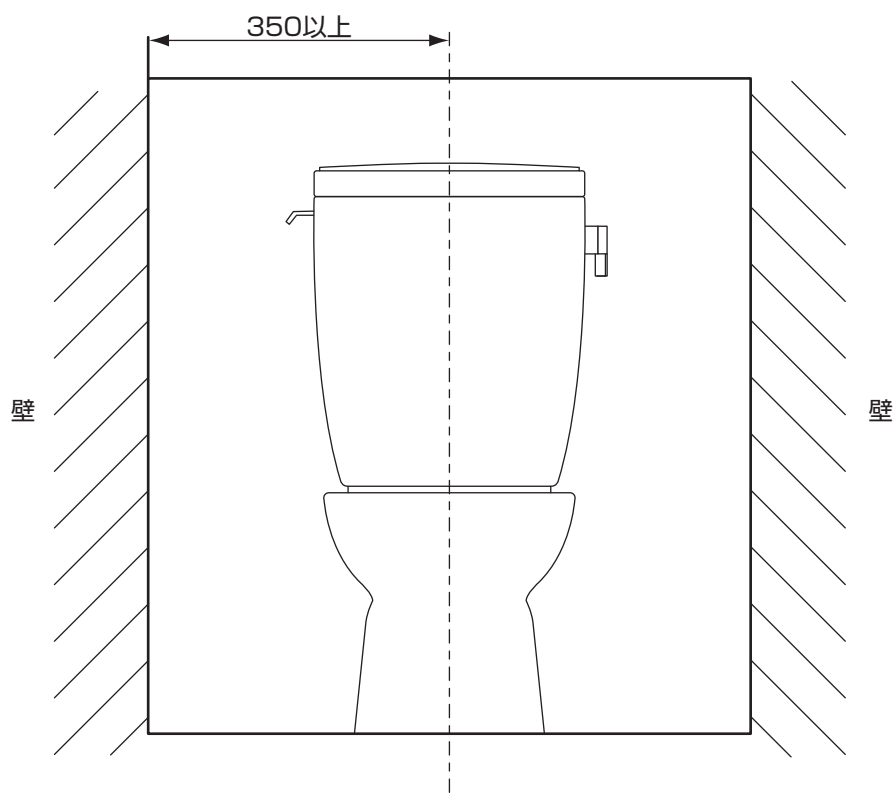
ウォシュレット用給水ホースクランプをワンタッチナットにはめ込みます。その後、ウォシュレット用給水ホースを引っ掛けてください。

流動仕様施工時の注意点

<流動仕様の場合>



注意 陶器中心から壁まで最低350mm以上確保する
流動レバーが操作できない可能性があります。



※BL品(BLマーク証紙貼り付け品)において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(財)ベターリビングのBL保険が利用できます。

保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。

財)ベターリビング ホームページ…<http://www.blhp.org/>
電話番号…03-5211-0559